

## 京浜グループ [6クラブ] 活動通信

### 東京羽田RCのご紹介

東京羽田RC 会長 萩尾 裕康

東京羽田ロータリークラブは今年の1月に創立50周年という節目の時を迎えました。本年は次の新たな歴史を刻むべき初年度にあたります。

東京国際空港というメガ空港内に事務所と例会の場を置いて、地元地域から、また空港関係からという会員で構成されるわがクラブの活動は、必然的に「地域と空港の共生」を主眼とすることになります。

地元の高校や町会への支援、海外では熱帯雨林の再生事業への参加など羽田の特性を生かした奉仕活動を行っていますが今後も取り組みを継続することとしています。

四つの奉仕がロータリー活動の基本、しかしなんといっても奉仕以前にまずクラブという集いが会員にとって楽しいものでなくては始まりません。人に歴史あり・・・様々な履歴の会員同士が親しくなるクラブライフこそロータリアンの最大のメリット、わがクラブも多聞に漏れず親睦に勤しんでいるところです。



### 「新しい時代への第一歩」を2009-10年のクラブテーマに掲げた

東京品川中央RC 会長 杉本 寛行

東京品川中央RCはより魅力的なクラブをめざして、社会奉仕活動では親子のきずなや子供(小学生以下)の情操教育や社会に順応する教育を中心として地域行政とも連携をとりながら、新しい時代の社会奉仕を志向しています。

情操教育としては、弦楽器や管楽器の構成で行われる、ボランティアコンサートを品川区の小学校で今回は、10月から12月の間に3回企画をしています。

親子のきずなを主眼とした「親と小学生の和食料理教室」。

社会教育として小学生高学年の「鯨の開き方教室」、幼稚園児の「元気でお手前」などの奉仕活動を行っています。



親睦活動では、「S (シンプル)・M (珍しい)・T (楽しい)」テーマに新しい試みに挑戦しています。「秘密の皇居めぐり&新丸ビル食事会」は皇居の中を2kmほど散策しました。また、天皇・皇后に御会いできるハプニングもありました。皇居散策の後は楽しい昼食のひと時を過ごすことができました。



### 東京田園調布RC 活動通信

東京田園調布RC 広報・雑誌副委員長 村松 濱代

経費の節約のためか、ガバナー月信が一般会員に配布されたのは、久邇ガバナーになられて久しぶりで懐かしく感じた。と同時にこれからは多少なりとも新しいロータリー情報が我々一般会員に毎月、月信を通じて知らされるのだと思ったら、月信のインターネット版に掲載する原稿依頼の書類であった。

ガバナー月信はそもそもガバナーから、各クラブの会長、幹事、会員に新クラブの結成、地区協議会、地区大会、国際大会、特筆すべき地区内クラブの功績、複数クラブの注意を要する事項などを含めることが出来る。ガバナーは、ロータリアンに送る月信でRI地区表彰プログラムを推進するよう強く奨励されている。と手続要覧36頁に書かれてある。

会長幹事または地区役員以外の一般会員は、国際ロータリーの状況、RI理事会の内容、理事会の決定事項、などのロータリー情報を殆ど知らされていないので、せめてガバナー月信でそれらのロータリー情報を知らせてもらいたいものだと思う。



Governor's  
MONTHLY LETTER